

### 3 地域での子育て支援環境づくりについての意識

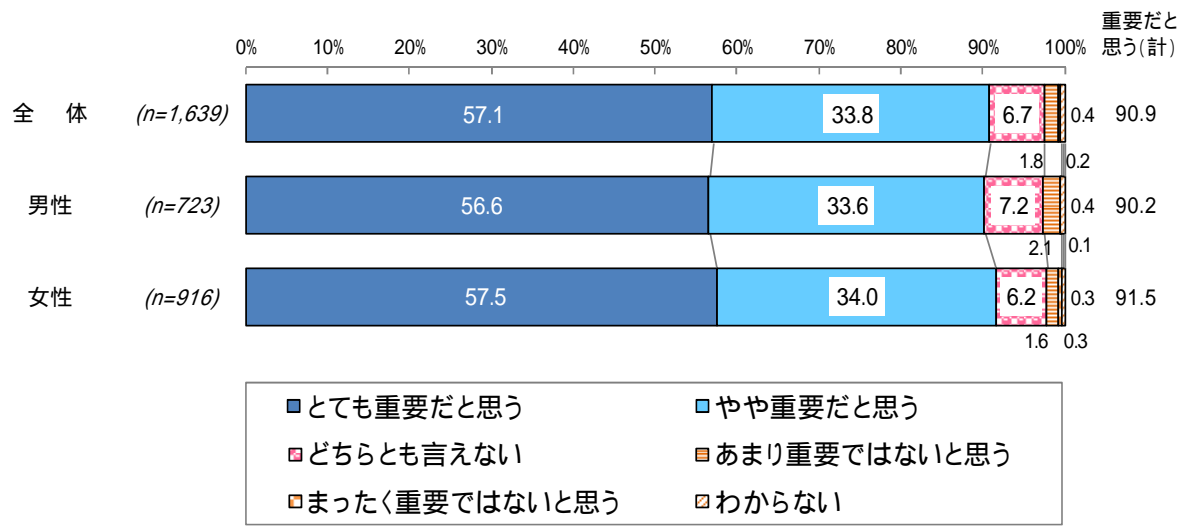
#### (1) 子育てをする人にとっての地域の支えの重要性 (Q12)

Q12 〔回答票 13〕 子育てをする人にとって、地域の支えは重要だと思いますか。  
 この中から1つ選んでください。

(ア) とても重要だと思う	(エ) あまり重要ではないと思う
(イ) やや重要だと思う	(オ) まったく重要ではないと思う
(ウ) どちらとも言えない	わからない

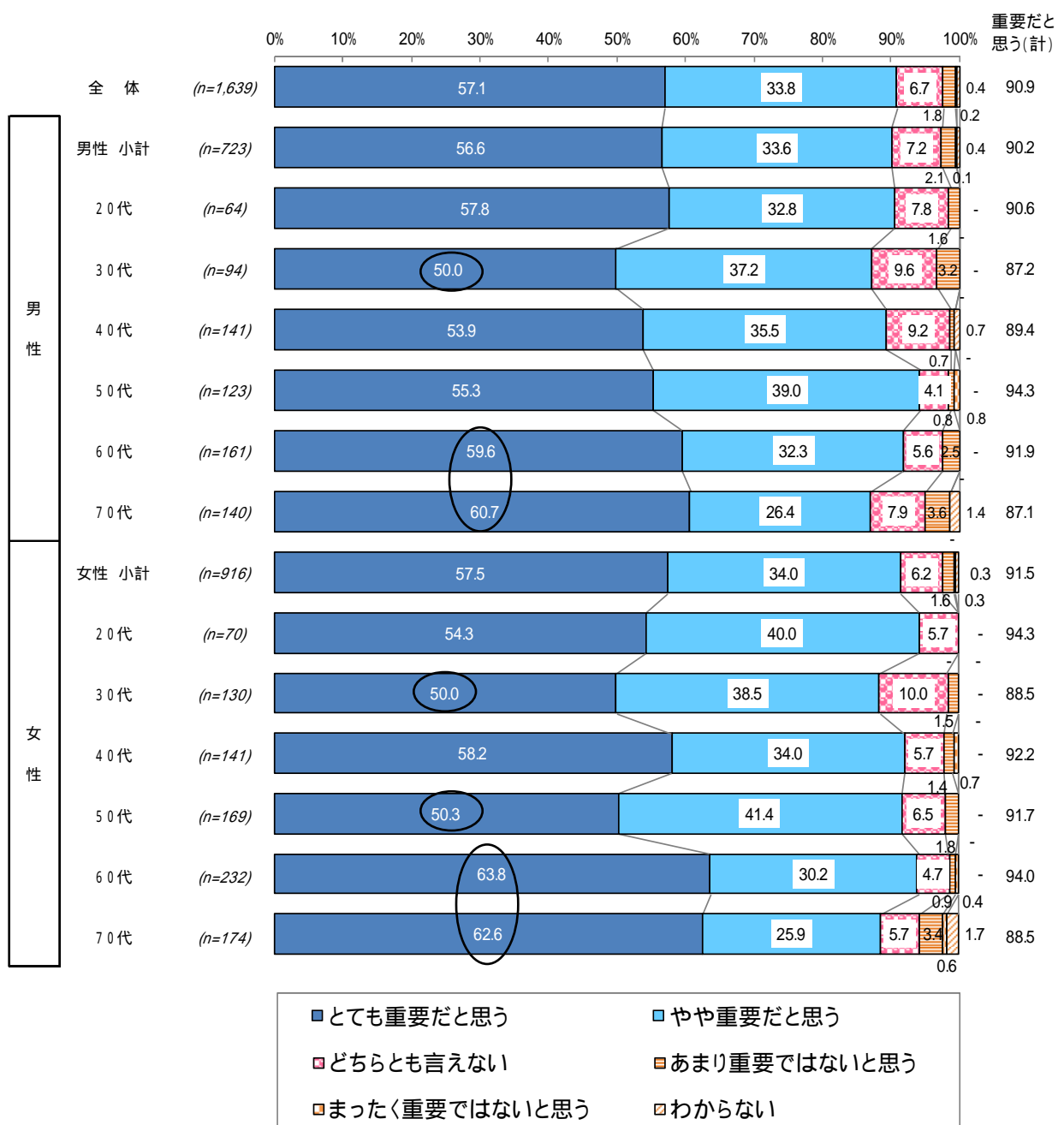
- 子育てをする人にとっての地域の支えの重要性を聞いたところ (図表 3-1-1)、「とても重要だと思う」という回答者は 57.1%で最も多く、「やや重要だと思う」(33.8%)という回答をあわせると、9割が地域の支えが『重要だと思う』と回答している。
- 性別にみても、男女差はみられない。

図表 3-1-1 子育てをする人にとっての地域の支えの重要性<SA> (全体・性別)



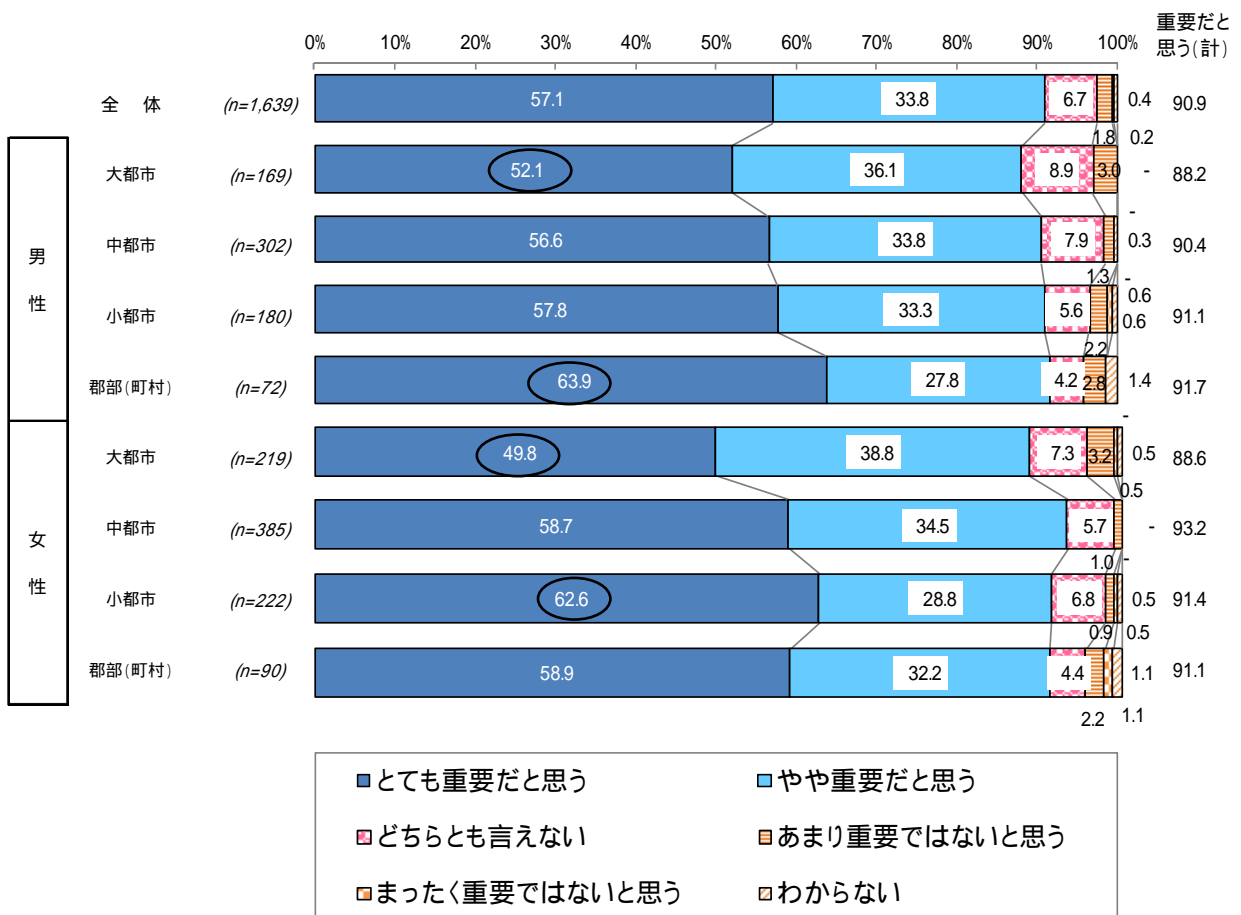
- 性・年代別にみると（図表 3-1-2）、いずれの層でも 9 割前後が、子育てをする人に地域の支えは『重要だと思う』（「とても重要だと思う」＋「やや重要だと思う」）と回答している。
- 男女とも 60 代以上（男性 60 代 59.6%、70 代 60.7%、女性 60 代 63.8%、70 代 62.6%）で「とても重要だと思う」と積極的に評価する回答者は多い傾向だが、逆に男女 30 代（男性 50.0%、女性 50.0%）と女性 50 代（50.3%）では他の層に比べてやや少なくなっている。

図表 3-1-2 子育てする人にとっての地域の支えの重要性＜SA＞（性・年代別）



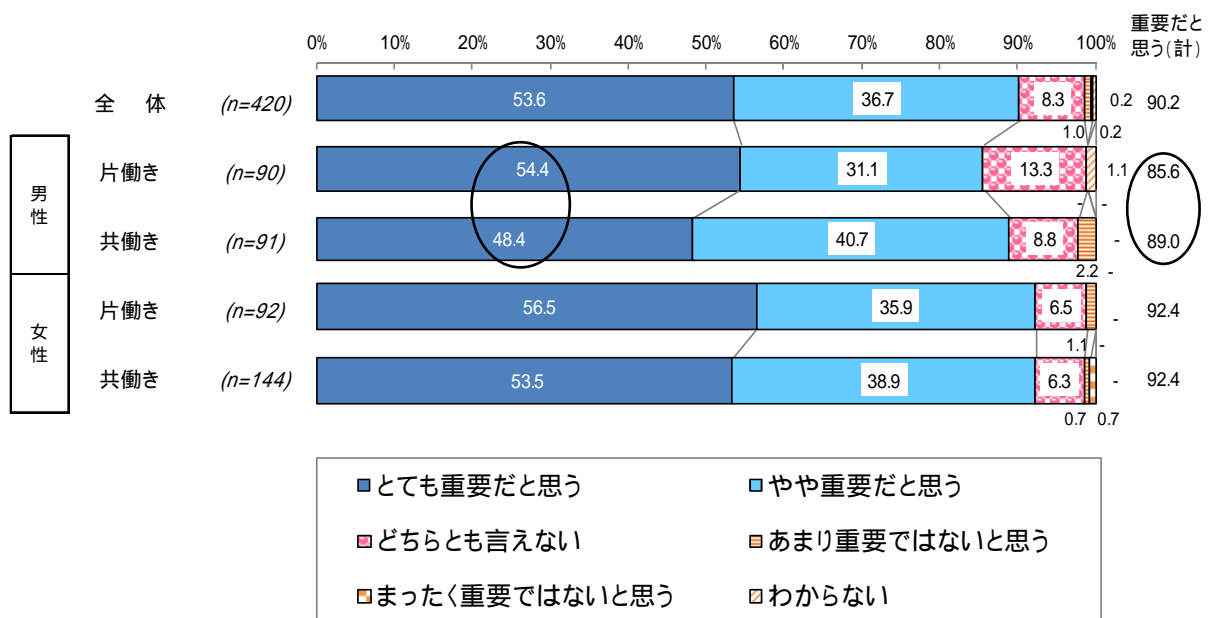
- 性・都市規模別にみると（図表 3-1-3）、いずれの層でも、子育てをする人に地域の支えは『重要だと思う』（「とても重要だと思う」＋「やや重要だと思う」という回答者が 9 割前後となっている。
- 「とても重要だと思う」と積極的に評価する回答者は、男性の郡部(町村)在住者（63.9%）と女性の小都市在住者（62.6%）で 6 割を上回ってやや多くなっている。
- 男女ともに、大都市は他層と比べて「とても重要だと思う」（男性 52.1%、女性 49.8%）という回答は少ない傾向となっている。

図表 3-1-3 子育てする人にとっての地域の支えの重要性<SA>（性・都市規模別）



- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、子育てをする人にとっての地域の支えの重要性をみると（図表3-1-4）、「とても重要だと思う」という回答者は53.6%で最も多く、「やや重要だと思う」（36.7%）という回答をあわせると、9割が地域の支えが『重要だと思う』と回答している。
- 性・夫婦就労状況別にみると、『重要だと思う』という回答は、片働き世帯の男性（85.6%）で共働きの男性（89.0%）よりやや少なくなっているが、「とても重要である」に着目すると、片働き世帯の男性（54.4%）の方が、共働きの男性（48.4%）よりもやや多くなっている。

図表 3-1-4 子育てする人にとっての地域の支えの重要性＜SA＞  
（20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別）



(2) 地域で子育てを支えるために重要なこと (Q13)

【全員の方に】

Q13 [回答票 14] あなたは、地域で子育てを支えるために、どんなことが重要だと思いますか。

この中から特に重要だと思うものをいくつでもあげてください。(M. A.)

- (ア) 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること
- (イ) 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること
- (ウ) 子育てに関する情報を提供する人や場があること
- (エ) 子育て家庭の家事を支援する人や場があること
- (オ) 不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること
- (カ) 子どもと一緒に遊ぶ人や場があること
- (キ) 子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること
- (ク) 地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること
- (ケ) 子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること
- (コ) 小中学校の校外学習や行事をサポートする人がいること
- (サ) 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること
- (シ) 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること

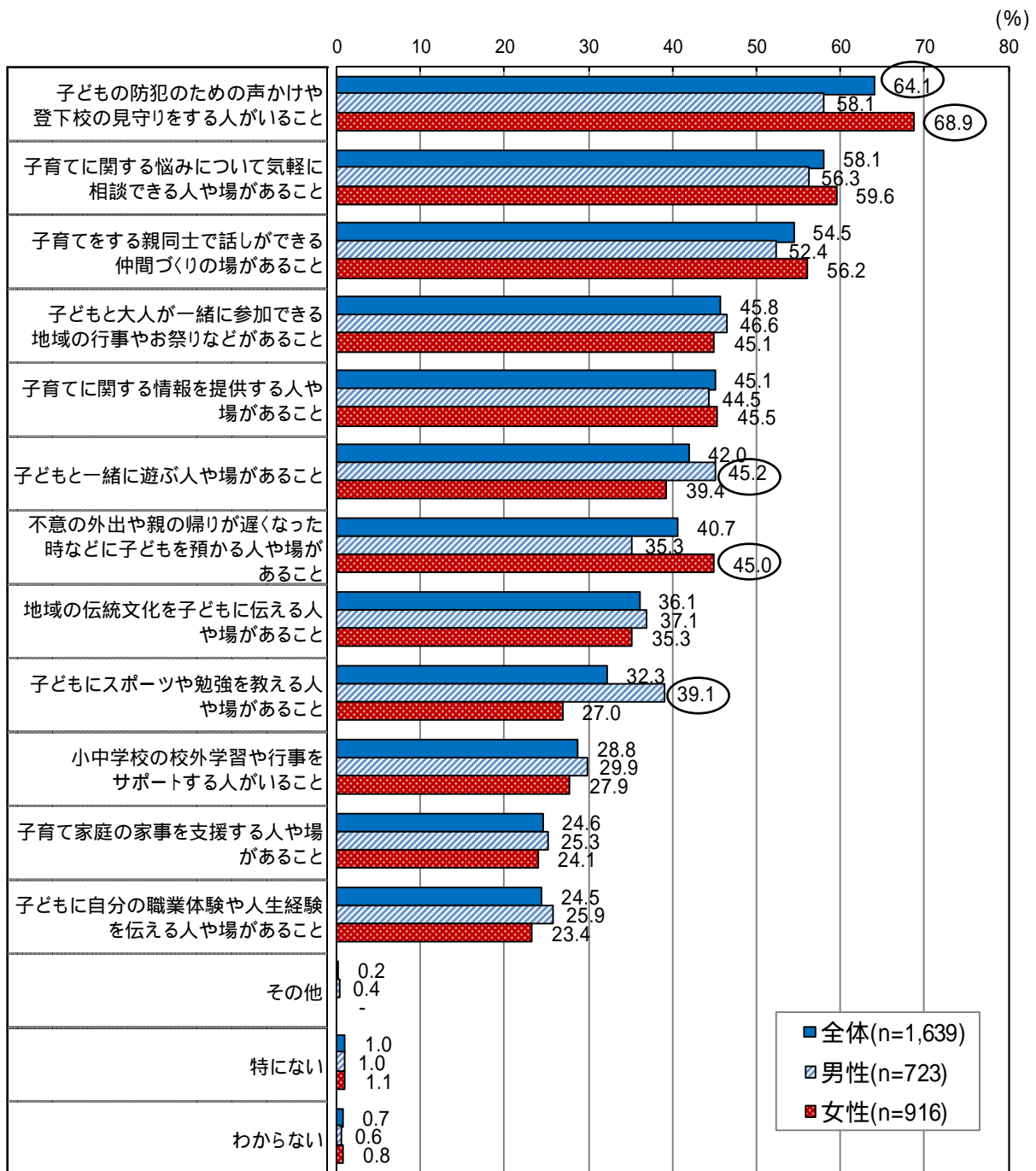
その他

特にない

わからない

- 地域で子育てを支えるために重要なこととしては(図表 3-2-1)、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が64.1%で最も多くあげられ、次いで「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」(58.1%)、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること」(54.5%)の順となっている。
- 性別にみると、重要視する項目順位に大きな男女差はみられないが、女性が男性より多くあげているのは、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」(男性58.1%、女性68.9%)と「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」(同35.3%、45.0%)。
- 男性が女性より多くあげているのは、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」(男性45.2%、女性39.4%)、「子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること」(同39.1%、27.0%)。

図表 3-2-1 地域で子育てを支えるために重要なこと<MA> (全体・性別)



- 性・年代別にみると（図表 3-2-2）、20 代は他の年代よりも多くの項目をあげる傾向にあり、特に 20 代男性で多くなっている。
- 全体で 1 位にあげられている「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」は、女性のすべての年代で 1 位となっているのに対して、男性の 20 代と 40～60 代では「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」が最も多くあげられている。
- また、男女とも 20 代で「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」（男性 62.5%、女性 60.0%）が上位にあげられている。

図表 3-2-2 地域で子育てを支えるために重要なこと＜MA＞（性・年代別）

		(%)															
		子どもと一緒に遊ぶ人や場があること	子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること	子育てをしてくれる親戚や地域の人がいること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること	子育てに関する情報や相談が受けられること
全体	(n=1,639)	64.1	58.1	54.5	45.8	45.1	42.0	40.7	36.1	32.3	28.8	24.6	24.5	0.2	1.0	0.7	
男性	男性小計	(n=723)	58.1	56.3	52.4	46.6	44.5	45.2	35.3	37.1	39.1	29.9	25.3	25.9	0.4	1.0	0.6
	20代	(n=64)	67.2	68.8	57.8	53.1	50.0	62.5	48.4	37.5	48.4	37.5	20.3	34.4	-	-	-
	30代	(n=94)	67.0	48.9	57.4	42.6	47.9	47.9	42.6	29.8	37.2	29.8	34.0	27.7	-	-	-
	40代	(n=141)	56.7	60.3	52.5	48.9	43.3	42.6	25.5	41.8	42.6	27.0	22.0	26.2	-	-	-
	50代	(n=123)	58.5	61.8	54.5	48.0	48.8	48.0	40.7	37.4	43.9	34.1	27.6	27.6	-	0.8	-
	60代	(n=161)	55.3	57.1	50.9	45.3	44.1	43.5	32.9	37.3	33.5	27.3	24.8	21.7	0.6	1.2	1.9
	70代	(n=140)	52.1	45.7	46.4	44.3	37.9	37.9	32.1	36.4	35.0	28.6	23.6	23.6	1.4	2.9	0.7
女性	女性小計	(n=916)	68.9	59.6	56.2	45.1	45.5	39.4	45.0	35.3	27.0	27.9	24.1	23.4	-	1.1	0.8
	20代	(n=70)	67.1	58.6	45.7	52.9	57.1	60.0	51.4	28.6	35.7	21.4	28.6	21.4	-	-	-
	30代	(n=130)	73.8	60.8	52.3	46.2	43.1	44.6	46.2	31.5	23.8	26.2	20.8	21.5	-	-	0.8
	40代	(n=141)	70.2	61.7	58.9	46.1	52.5	36.9	42.6	38.3	26.2	33.3	22.0	29.1	-	0.7	-
	50代	(n=169)	78.1	60.9	56.2	49.1	48.5	35.5	46.2	39.6	27.2	31.4	24.3	20.7	-	0.6	-
	60代	(n=232)	68.5	61.2	63.4	41.8	42.7	39.2	45.3	37.1	27.6	27.6	28.0	26.3	-	2.2	-
	70代	(n=174)	56.3	54.0	51.7	40.8	37.9	33.3	42.0	31.6	25.3	24.7	21.3	19.5	-	1.7	3.4

- 性・都市規模別にみると（図表 3-2-3）、女性の郡部（町村）在住者以外は、順位が若干異なるものの、上位3項目は同じ項目があげられている。
- 一方、女性の郡部在住者では「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（51.1%）が3位にあげられている。

図表 3-2-3 地域で子育てを支えるために重要なこと<MA>（性・都市規模別）

			子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること	子どもを預かる人や場があること
	全体 (n=1,639)	64.1	58.1	54.5	45.8	45.1	42.0	40.7	36.1	32.3	28.8	24.6	24.5	0.2	1.0	0.7		
男 性	大都市 (n=169)	52.1	55.6	58.0	45.6	46.7	45.0	30.8	35.5	36.7	29.6	24.9	26.0	-	1.2	0.6		
	中都市 (n=302)	62.9	56.3	54.6	49.7	45.4	49.0	40.4	40.7	41.4	35.4	26.2	27.2	0.7	1.0	0.3		
	小都市 (n=180)	56.1	61.1	46.7	43.9	42.2	40.0	31.1	35.6	40.0	22.8	24.4	24.4	0.6	0.6	1.1		
	郡部(町村) (n=72)	56.9	45.8	44.4	43.1	41.7	43.1	34.7	29.2	33.3	25.0	25.0	23.6	-	1.4	-		
女 性	大都市 (n=219)	67.6	56.6	58.5	45.7	51.6	37.0	47.9	36.1	28.3	28.8	22.4	19.6	-	0.9	-		
	中都市 (n=385)	70.4	61.6	54.5	46.5	48.6	38.4	44.9	35.8	26.8	28.8	25.2	26.8	-	0.8	1.3		
	小都市 (n=222)	69.8	60.8	59.9	41.0	36.0	40.5	39.6	33.3	27.0	25.7	23.0	22.1	-	1.8	0.9		
	郡部(町村) (n=90)	63.3	55.6	47.8	47.8	41.1	46.7	51.1	35.6	24.4	27.8	26.7	21.1	-	1.1	-		



- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、地域で子育てを支えるために重要なことをみると（図表 3-2-4）、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が 69.5%で最も多く、次いで「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」（57.9%）、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること」（54.8%）と、回答者全体と同じ順となっている。
- 性・夫婦就労状況別にみると、共働き世帯の男性が片働き世帯の男性よりも多いのは、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」（共働き 52.7%、片働き 41.1%）、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（同 39.6%、26.7%）、「子育て家庭の家事を支援する人や場があること」（同 31.9%、18.9%）。
- 一方、片働き世帯の女性では、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること」（62.0%）が、共働き世帯の女性（47.2%）よりも多くなっている。共働き世帯の女性では、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（47.9%）が片働き世帯の女性（37.0%）よりも多くなっている。
- 回答者の性別と、夫婦の就労状況によって、重要と考えることに違いがみられる。

図表 3-2-4 地域で子育てを支えるために重要なこと<MA>  
(20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別)

		い る こ と	子 ど も の 防 犯 の た め の 声 か け	子 ど も と 一 緒 に 遊 ぶ 人 や 場 が あ る こ と	子 ど も と 一 緒 に 遊 ぶ 人 や 場 が あ る こ と	子 ど も と 大 人 が 一 緒 に 参 加 し て あ る こ と	子 ど も と 一 緒 に 遊 ぶ 人 や 場 が あ る こ と	子 ど も と 一 緒 に 遊 ぶ 人 や 場 が あ る こ と	不 意 の 外 出 や 親 の 帰 り が 遅 く な っ た 時 に 子 ど も を 預 か る 人 や 場 が あ る こ と	地 域 の 伝 統 文 化 を 子 ど も に 伝 え る 人 や 場 が あ る こ と	子 ど も に ス ポ ー ツ や 勉 強 を 教 える 人 や 場 が あ る こ と	小 中 学 校 の 校 外 学 習 や 行 事 を サ ポ ー ト す る 人 が い る こ と	子 ど も に 自 分 の 職 業 体 験 や 人 生 経 験 を 伝 え る 人 や 場 が あ る こ と	子 育 て 家 庭 の 家 事 を 支 援 す る 人 や 場 が あ る こ と	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
全	体 (n=420)	69.5	57.9	54.8	47.9	46.2	44.3	39.0	36.9	34.5	28.6	26.7	22.9	-	-	-	
男 性	片働き (n=90)	61.1	52.2	52.2	46.7	50.0	41.1	26.7	36.7	46.7	25.6	30.0	18.9	-	-	-	
	共働き (n=91)	70.3	57.1	60.4	45.1	49.5	52.7	39.6	44.0	46.2	35.2	33.0	31.9	-	-	-	
女 性	片働き (n=92)	67.4	64.1	62.0	50.0	41.3	41.3	37.0	31.5	22.8	22.8	21.7	17.4	-	-	-	
	共働き (n=144)	75.7	56.9	47.2	47.9	45.8	43.1	47.9	36.1	27.8	30.6	23.6	22.2	-	-	-	

(3) 参加したい子育てに関する活動 (Q14)

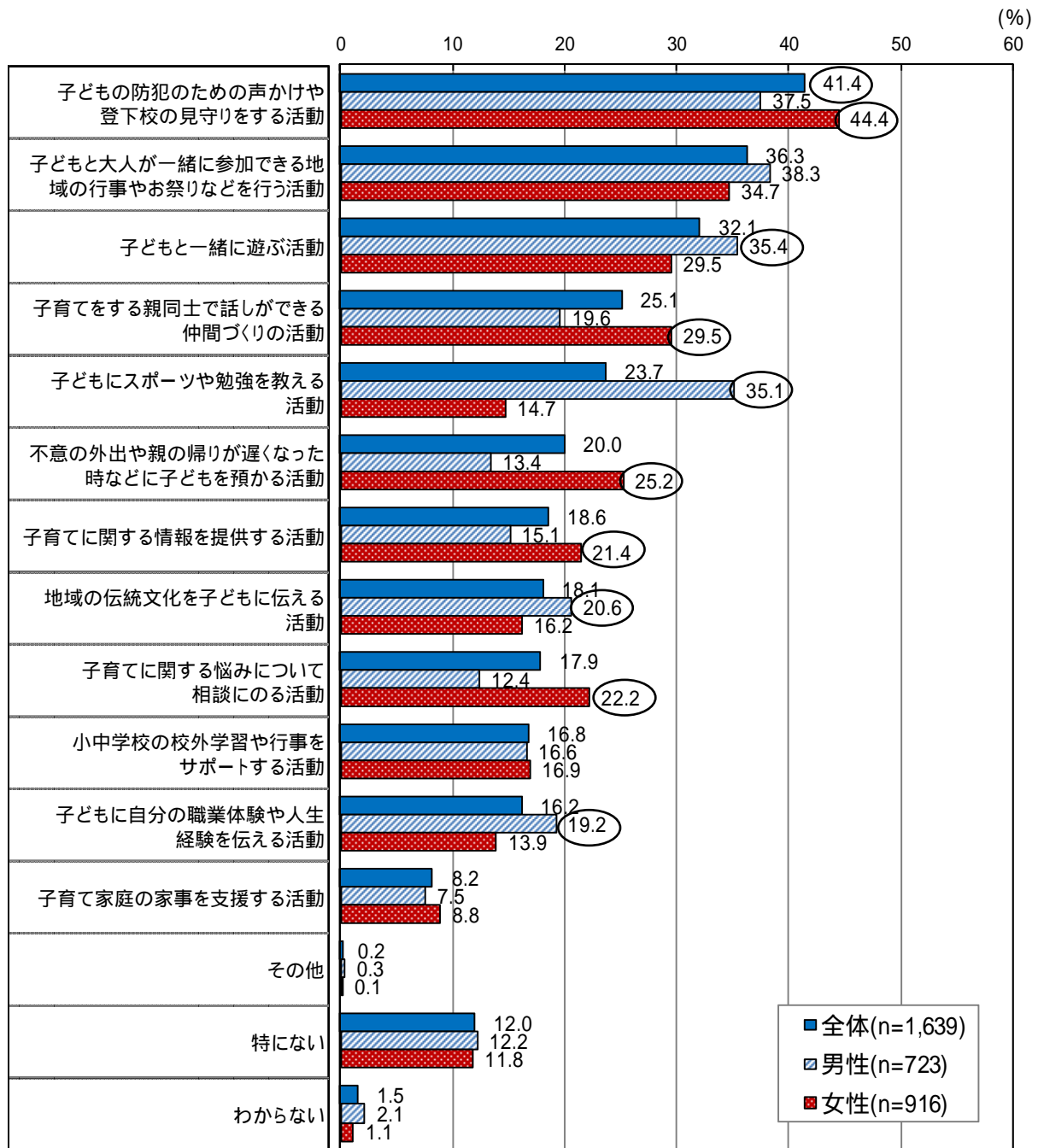
Q14 [回答票 15] 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、あなたが参加したいと思う活動はありますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(ア) 子育てに関する悩みについて相談にのる活動  
(イ) 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動  
(ウ) 子育てに関する情報を提供する活動  
(エ) 子育て家庭の家事を支援する活動  
(オ) 不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動  
(カ) 子どもと一緒に遊ぶ活動  
(キ) 子どもにスポーツや勉強を教える活動  
(ク) 地域の伝統文化を子どもに伝える活動  
(ケ) 子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える活動  
(コ) 小中学校の校外学習や行事をサポートする活動  
(サ) 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動  
(シ) 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動

その他  
特にな  
わからない

- 地域社会における子育てに関する活動の支え手として、参加したいと思う活動としては(図表 3-3-1)、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」が41.4%で最も多く、以下「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動」(36.3%)、「子どもと一緒に遊ぶ活動」(32.1%)、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」(25.1%)などの順となっている。
- 性別にみると、男性が女性より多くあげているのは、「子どもと一緒に遊ぶ活動」(男性 35.4%、女性 29.5%)、「子どもにスポーツや勉強を教える活動」(同 35.1%、14.7%)、「地域の伝統文化を子どもに伝える活動」(同 20.6%、16.2%)、「子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える活動」(同 19.2%、13.9%)。
- 女性が男性より多くあげているのは、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」(男性 37.5%、女性 44.4%)、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」(同 19.6%、29.5%)、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動」(同 13.4%、25.2%)、「子育てに関する情報を提供する活動」(同 15.1%、21.4%)、「子育てに関する悩みについて相談にのる活動」(同 12.4%、22.2%)。

図表 3-3-1 参加したい子育てに関する活動<MA> (全体・性別)



- 性・年代別にみると（図表 3-3-2）、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」は、男性 60 代（47.2%）、女性 50 代（50.3%）で他の層よりもやや多くあげられている。
- 「子どもと一緒に遊ぶ活動」は男性 20 代（50.0%）・30 代（61.7%）と女性 20 代（55.7%）に多くあげられ、特に男性の 30 代では 6 割を上回っている。
- また、「子どもにスポーツや勉強を教える活動」は男性の 20～40 代で 4 割以上があげており、20 代男性（48.4%）では半数近い。
- 男女とも 20 代では、参加したいという項目が他の年代よりもやや多くあげられている。女性の 20 代では「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動」（52.9%）と「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」（48.6%）が 5 割前後となっている。
- 女性の 20 代と 60 代では、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動」（20 代 31.4%、60 代 30.2%）が他の層よりもやや高い。

図表 3-3-2 参加したい子育てに関する活動<MA>（性・年代別）

		子どもと一緒に遊ぶ活動	子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動	子どもと一緒に遊ぶ活動	子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動	子どもにスポーツや勉強を教える活動	不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる活動	子育てに関する情報を提供する活動	地域の伝統文化を子どもに伝える活動	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	小中学校の校外学習や行事をサポートする活動	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える活動	子育て家庭の家事を支援する活動	その他	特になし	わからない
全体	(n=1,639)	41.4	36.3	32.1	25.1	23.7	20.0	18.6	18.1	17.9	16.8	16.2	8.2	0.2	12.0	1.5
男性	(n=723)	37.5	38.3	35.4	19.6	35.1	13.4	15.1	20.6	12.4	16.6	19.2	7.5	0.3	12.2	2.1
20代	(n=64)	45.3	43.8	50.0	32.8	48.4	17.2	25.0	9.4	25.0	17.2	25.0	14.1	-	6.3	3.1
30代	(n=94)	39.4	41.5	61.7	30.9	43.6	12.8	19.1	16.0	11.7	18.1	21.3	10.6	-	3.2	2.1
40代	(n=141)	28.4	39.7	35.5	15.6	44.7	9.9	10.6	24.8	13.5	17.0	20.6	3.5	-	6.4	2.1
50代	(n=123)	37.4	42.3	39.8	21.1	39.8	14.6	21.1	26.0	12.2	22.0	17.1	7.3	-	9.8	-
60代	(n=161)	47.2	38.5	21.7	16.1	27.3	16.8	10.6	19.9	6.8	15.5	19.9	7.5	-	14.3	1.2
70代	(n=140)	30.7	28.6	22.9	12.9	18.6	10.7	12.1	20.7	12.9	11.4	15.0	6.4	1.4	26.4	4.3
女性	(n=916)	44.4	34.7	29.5	29.5	14.7	25.2	21.4	16.2	22.2	16.9	13.9	8.8	0.1	11.8	1.1
20代	(n=70)	38.6	52.9	55.7	48.6	22.9	31.4	34.3	15.7	30.0	17.1	15.7	8.6	-	2.9	2.9
30代	(n=130)	40.8	40.0	38.5	34.6	18.5	22.3	22.3	11.5	20.8	23.8	19.2	5.4	-	3.1	0.8
40代	(n=141)	44.7	36.9	38.3	36.9	21.3	24.1	31.2	18.4	22.7	24.8	15.6	12.8	-	3.5	-
50代	(n=169)	50.3	31.4	26.0	23.7	13.0	21.9	25.4	15.4	21.9	16.6	11.8	7.7	0.6	9.5	1.2
60代	(n=232)	45.7	31.5	19.8	24.1	11.6	30.2	15.1	17.7	22.8	14.2	9.5	9.1	-	16.4	0.9
70代	(n=174)	42.0	29.3	21.3	24.7	9.2	22.4	12.1	16.7	19.0	9.2	15.5	9.2	-	24.7	1.7

- 性・都市規模別にみると（図表 3-3-3）、女性の郡部（町村）在住者で「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」（50.0%）と「子育てに関する情報を提供する活動」（26.7%）が、他の層よりやや多くあげられている。
- 一方、「子どもにスポーツや勉強を教える活動」は、男性の中都市在住者で 40.4%と、他の層よりやや多くあげられている。

図表 3-3-3 参加したい子育てに関する活動<MA>（性・都市規模別）

		子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	子どもの地域での行事やお祭りなどを行う活動	子どもと大人が一緒に遊ぶ活動	子どもと一緒に遊ぶ活動	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	子どもにスポーツや勉強を教える活動	不意の外出や親の帰りが遅くなる活動	子育てに関する情報を提供する活動	地域の伝統文化を子どもに伝える活動	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	小中学校の校外学習や行事をサポートする活動	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える活動	子育て家庭の家事を支援する活動	その他	特になし	わからない
全体	(n=1,639)	41.4	36.3	32.1	25.1	23.7	20.0	18.6	18.1	17.9	16.8	16.2	8.2	0.2	12.0	1.5	
男性	大都市	33.7	36.7	34.9	18.3	30.2	13.6	11.2	13.0	14.2	14.2	20.1	9.5	-	17.8	2.4	
	中都市	38.4	39.7	35.1	20.5	40.4	14.2	15.6	24.2	10.9	20.5	18.9	5.6	0.3	10.6	2.0	
	小都市	37.2	38.3	38.3	18.3	33.3	11.7	16.1	22.2	12.8	15.0	18.3	8.9	0.6	11.1	2.8	
	郡部(町村)	43.1	36.1	30.6	22.2	29.2	13.9	19.4	19.4	13.9	9.7	20.8	6.9	-	8.3	-	
女性	大都市	44.3	36.1	29.7	29.2	17.4	22.4	20.5	16.0	21.0	14.6	13.7	8.7	-	12.8	0.9	
	中都市	43.9	35.3	30.4	29.9	15.6	29.4	21.8	16.4	24.4	19.2	16.4	9.1	0.3	10.1	1.6	
	小都市	43.2	32.4	27.5	27.0	13.5	22.5	19.4	15.8	19.4	15.8	9.9	8.6	-	14.4	0.9	
	郡部(町村)	50.0	34.4	30.0	34.4	7.8	21.1	26.7	16.7	22.2	15.6	13.3	8.9	-	10.0	-	

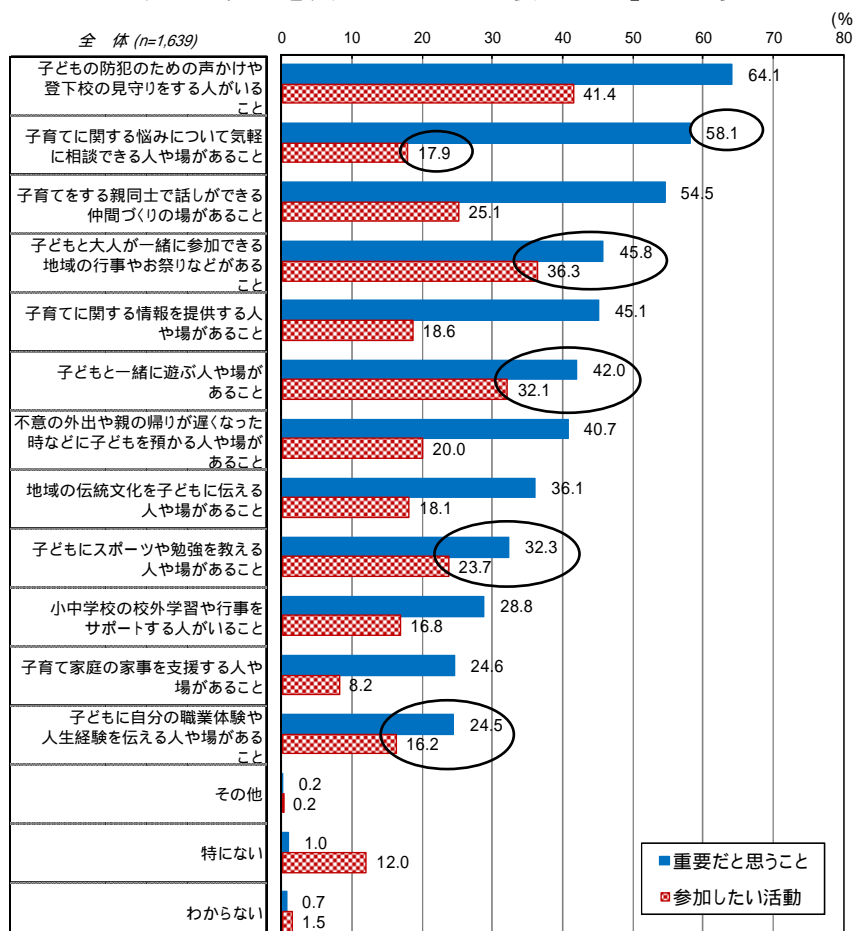
- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、地域社会における子育てに関する活動の支え手として、参加したいと思う活動をみると（図表3-3-4）、「子どもと一緒に遊ぶ活動」（45.0%）が最も多く、次いで「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動」（41.2%）、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動」（40.0%）、「子どもにスポーツや勉強を教える活動」（35.2%）、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」（31.4%）などの順となっている。
- 性・夫婦就労状況別にみると、共働き世帯の男性が片働き世帯の男性よりも多いのは、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」（共働き29.7%、片働き13.3%）と「小中学校の校外学習や行事をサポートする活動」（同24.2%、12.2%）。
- 一方、女性では、片働き世帯の女性で、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」（片働き50.0%、共働き31.3%）と「子育てに関する情報を提供する活動」（同34.8%、23.6%）が、共働き世帯の女性よりも多くなっている。

図表 3-3-4 参加したい子育てに関する活動＜MA＞  
（20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別）

		子どもと一緒に遊ぶ活動	子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動	子どもにスポーツや勉強を教える活動	子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動	子育てに関する情報を提供する活動	小中学校の校外学習や行事をサポートする活動	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える活動	不意の外出や親の帰りが遅くなった時に子どもを預かる活動	地域の伝統文化を子どもに伝える活動	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	子育て家庭の家事を支援する活動	その他	特になし	わからない
全体	(n=420)	45.0	41.2	40.0	35.2	31.4	21.9	21.2	19.8	18.6	18.6	16.9	7.4	-	2.4	0.5
男性	片働き (n=90)	50.0	42.2	36.7	54.4	13.3	15.6	12.2	20.0	11.1	25.6	14.4	3.3	-	2.2	1.1
	共働き (n=91)	52.7	50.5	37.4	52.7	29.7	11.0	24.2	28.6	13.2	19.8	7.7	7.7	-	2.2	1.1
女性	片働き (n=92)	35.9	39.1	46.7	18.5	50.0	34.8	26.1	14.1	23.9	17.4	23.9	7.6	-	2.2	-
	共働き (n=144)	42.4	36.8	39.6	23.6	31.3	23.6	21.5	17.4	23.6	14.6	20.1	9.0	-	2.8	-

- “地域で子育てを支えるために重要なこと”の回答（Q13、69 ページ）と、“参加したいと思う活動”の回答を比較すると（図表 3-3-5）、いずれの項目についても、重要と思うという回答が、参加したいという回答を上回っている。
- 重要と思うという回答と、参加したいという回答の差が大きくなっているのは、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」（重要 64.1%、参加 41.4%）、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」（同 58.1%、17.9%）、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの場があること」（同 54.5%、25.1%）、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」（同 45.8%、36.3%）、「子育てに関する情報を提供する人や場があること」（同 45.1%、18.6%）、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（同 40.7%、20.0%）で、差が 20 ポイント以上である。特に、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」は、2 番目に重要とされているが、参加したいという回答は下位にとどまっている。
- 逆に、重要と思うという回答と、参加したいという回答の差が小さいものは、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」（重要 45.8%、参加 36.3%）、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」（同 42.0%、32.1%）、「子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること」（同 32.3%、23.7%）、「子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること」（同 24.5%、16.2%）であり、差は 10 ポイント以内である。

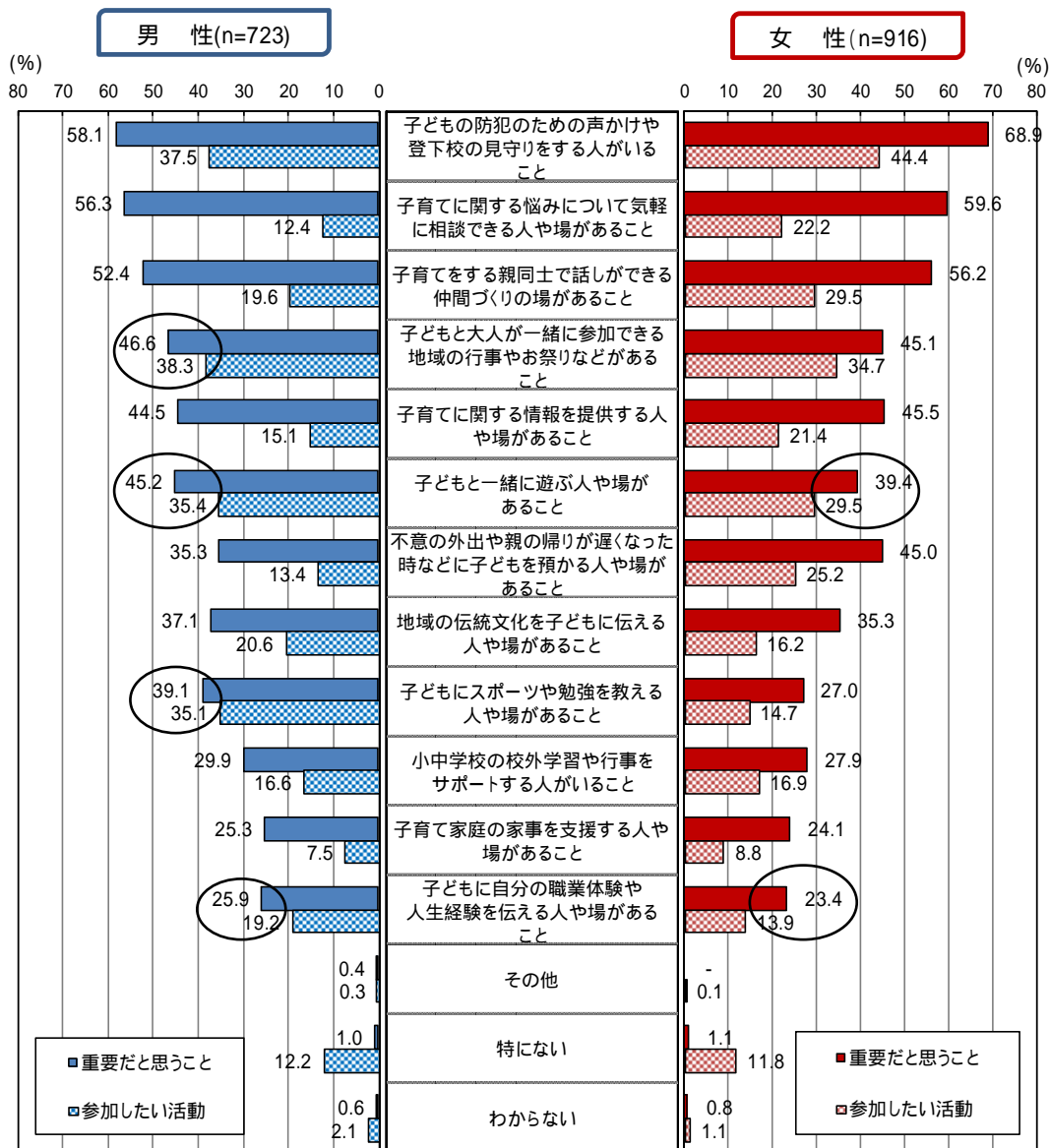
図表 3-3-5 「地域で子育てを支えるために重要なこと」と「参加したい活動」＜MA＞





- “地域で子育てを支えるために重要なこと”の回答（Q13、69 ページ）と、“参加したいと思う活動”の回答を性別に比較すると（図表 3-3-6）、重要と思うという回答と、参加したいという回答の差が 10 ポイント以内の項目は、男性では、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」（重要 46.6%、参加 38.3%）、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」（同 45.2%、35.4%）、「子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること」（同 39.1%、35.1%）、「子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること」（同 25.9%、19.2%）。
- 女性では、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」（同 39.4%、29.5%）、「子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること」（同 23.4%、13.9%）。
- 女性の方が、“参加したい”という回答が多く、多くの項目で男性よりも高い傾向であるが、“重要”という回答も多くの項目で女性の方が高くなっている。

図表 3-3-6 「地域で子育てを支えるために重要なこと」と  
「参加したい活動」＜MA＞（性別）





(4) 公共の場での子ども連れの親への手助けや話しかけ (Q15a)

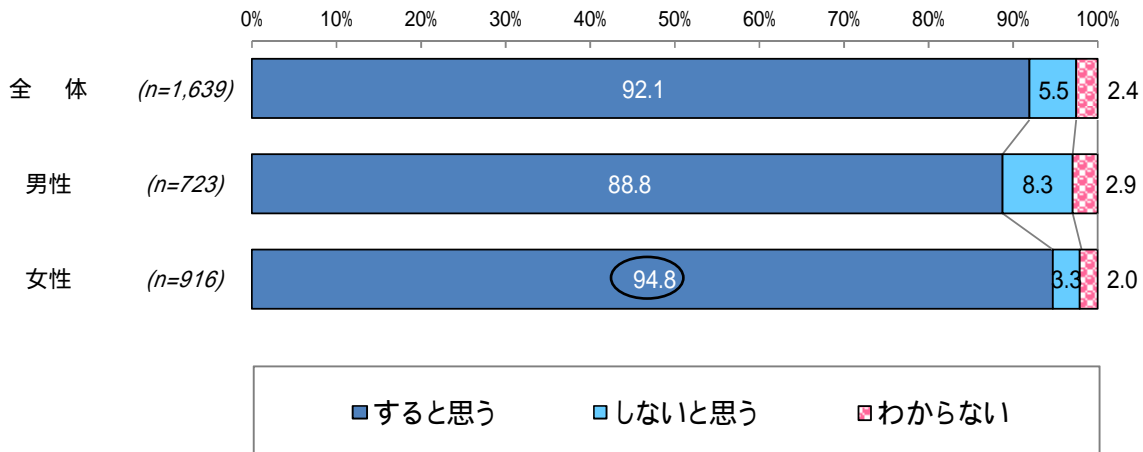
【全員の方に】

Q15a [回答票 16] 街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親が困っている場面を見かけたら、あなたは手助けをしたり、話しかけたりすると思いますか。

- (ア) と思う
- (イ) しないと思う
- わからない

- 街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親が困っている場面を見かけた場合に、手助けをしたり、話しかけたり「と思う」という回答者は92.1%で、多数を占めている(図表3-4-1)。
- 性別にみると、手助けや話しかけを「と思う」(男性88.8%、女性94.8%)という回答者は、男女とも多数を占めているが、特に女性に多くなっている。

図表 3-4-1 公共の場での子ども連れの親への手助けや話しかけ<SA> (全体・性別)



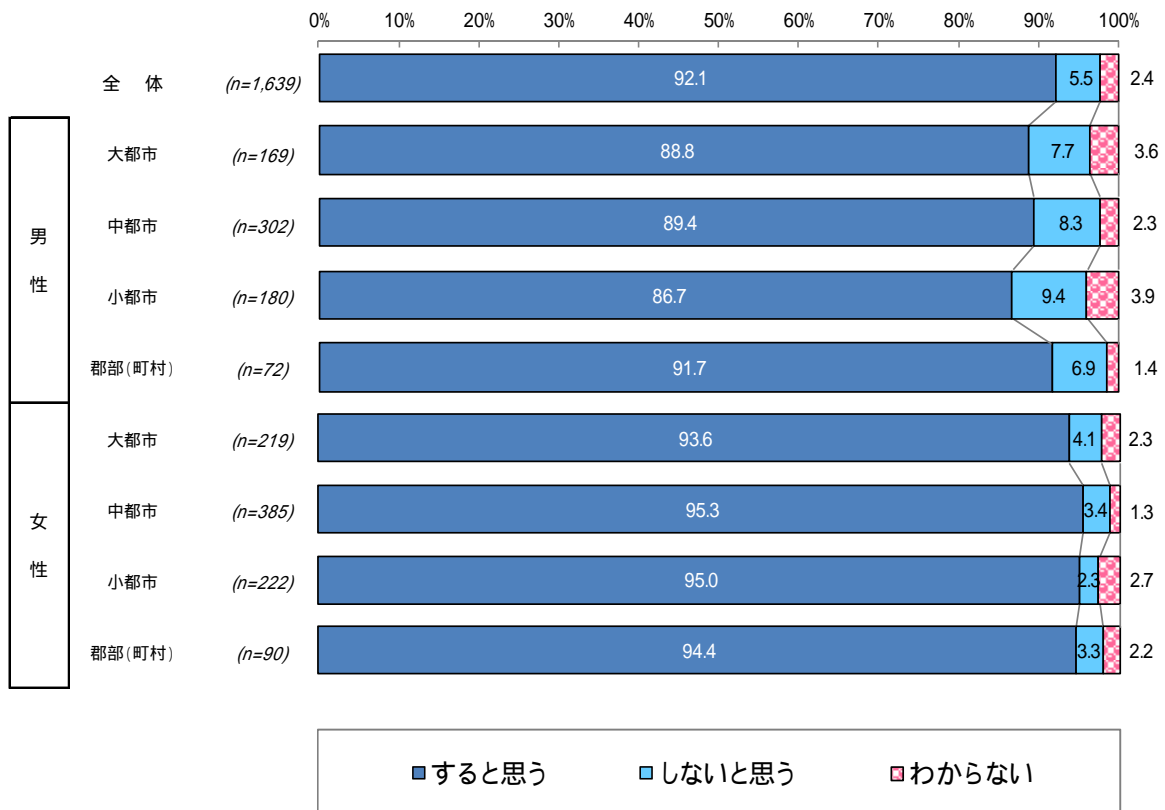
- 性・年代別にみると（図表 3-4-2）、いずれの層でも手助けや話しかけを「すると思う」という回答者が多数を占めているが、男性の 20 代で「しないと思う」（17.2%）という回答者が 2 割近くとなっている。

図表 3-4-2 公共の場での子ども連れの親への手助けや話しかけ＜S A＞（性・年代別）



- 性・都市規模別にみても（図表 3-4-3）、いずれの層も手助けや話しかけを「すると思う」という回答者が多数を占めている。

図表 3-4-3 公共の場での子ども連れの親への手助けや話しかけ＜S A＞  
（性・都市規模別）



(5) 子ども連れの親に対してしたいこと (Q15b)

【Q15aで「1 と思う」と答えた方に】

Q15b 〔回答票17〕では、街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親が困っている場面を見かけたら、どんなことをしたいと思いますか。したいと思うことをこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(ア) 席をゆずる

(イ) 階段などで、荷物やベビーカーを代わり(一緒)に持つ

(ウ) ドアをあけて、押さえておく

(エ) エレベーターで、先をゆずる

(オ) 子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう

(カ) 子どもをあやす

(キ) はげましの笑顔を向ける、話しかける

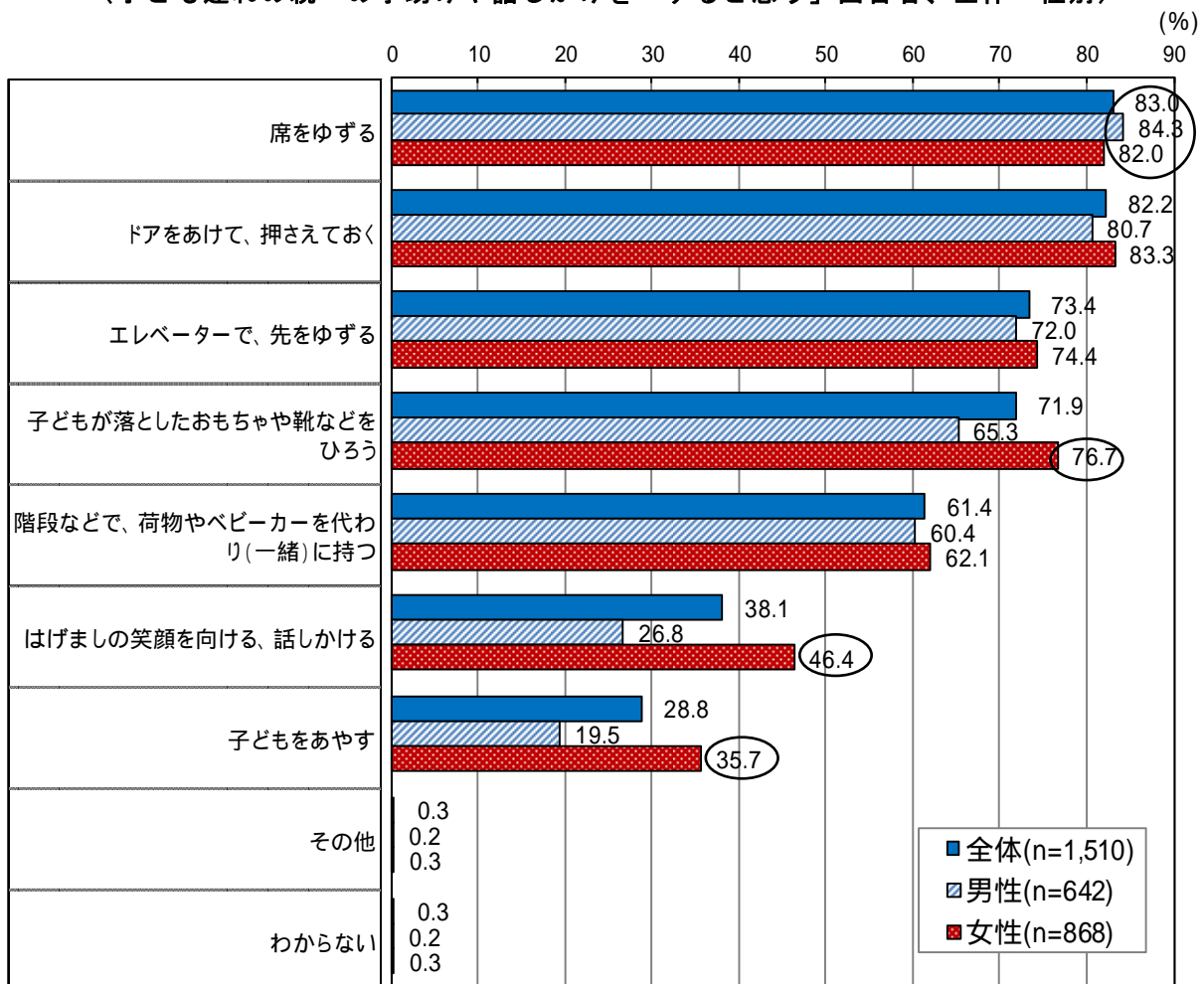
その他 ( )

わからない

- 街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親が困っている場面を見かけた場合に、手助けをしたり、話しかけたり「すると思う」という回答者（1,510人）が具体的にやりたいこととしては（図表3-5-1）、「席をゆずる」（83.0%）と「ドアをあけて、押さえておく」（82.2%）がともに8割を上回っている。
- 次いで「エレベーターで、先をゆずる」（73.4%）、「子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう」（71.9%）が7割台、「階段などで、荷物やベビーカーを代わり（一緒に持つ）」（61.4%）は6割台であるが、「はげましの笑顔を向ける、話しかける」（38.1%）と「子どもをあやす」（28.8%）はやりたいことの内容としては、積極的にあげられていない。
- 性別にみると、「子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう」（男性65.3%、女性76.7%）、「はげましの笑顔を向ける、話しかける」（同26.8%、46.4%）、「子どもをあやす」（同19.5%、35.7%）は、女性に多くあげられ、男女差が大きくなっている。

図表 3-5-1 子ども連れの親に対してしたいこと<MA>

（子ども連れの親への手助けや話しかけを「すると思う」回答者、全体・性別）



- 性・年代別にみると（図表 3-5-2）、全体では下位項目である「はげましの笑顔を向ける、話しかける」と「子どもをあやす」は、男女とも年齢が上がるほど多くあげられている。
- 特に「はげましの笑顔を向ける、話しかける」について、女性の 70 代（61.1%）で 6 割以上が行いたいと考えている。

図表 3-5-2 子ども連れの親に対してしたいこと<MA>  
 （子ども連れの親への手助けや話しかけを「すると思う」回答者、性・年代別）

		席をゆする	押ドアをあけておく	先工をゆす	子どもが落ちた	つわり（一時的）に荷物を	階段などで、荷物	はげましの笑顔	子どもをあやす	その他	わからない
全体	(n=1,510)	83.0	82.2	73.4	71.9	61.4	38.1	28.8	0.3	0.3	
男性小計	(n=642)	84.3	80.7	72.0	65.3	60.4	26.8	19.5	0.2	0.2	
20代	(n=52)	86.5	88.5	78.8	76.9	46.2	9.6	9.6	-	-	
30代	(n=81)	84.0	91.4	76.5	71.6	60.5	19.8	16.0	-	-	
40代	(n=125)	88.0	87.2	76.8	70.4	68.0	19.2	15.2	-	-	
50代	(n=111)	84.7	83.8	73.9	65.8	65.8	22.5	14.4	-	0.9	
60代	(n=145)	84.1	75.9	68.3	66.2	62.1	35.9	23.4	-	-	
70代	(n=128)	79.7	67.2	64.1	50.0	52.3	39.1	29.7	0.8	-	
女性小計	(n=868)	82.0	83.3	74.4	76.7	62.1	46.4	35.7	0.3	0.3	
20代	(n=66)	95.5	90.9	78.8	84.8	54.5	31.8	15.2	1.5	-	
30代	(n=122)	84.4	89.3	84.4	86.1	60.7	33.6	32.0	-	-	
40代	(n=133)	80.5	89.5	78.2	88.0	68.4	39.1	35.3	-	-	
50代	(n=164)	85.4	89.0	79.9	81.7	71.3	41.5	35.4	-	-	
60代	(n=221)	81.0	79.2	69.2	67.4	61.1	55.2	38.9	0.5	0.5	
70代	(n=162)	74.1	70.4	63.6	64.8	53.1	61.1	43.2	0.6	1.2	

- 性・都市規模別にみると（図表 3-5-3）、女性の郡部（町村）在住者で、「はげましの笑顔を向ける、話しかける」が 52.9%と、他の層よりもやや多くあげられている。

図表 3-5-3 子ども連れの親に対してしたいこと＜MA＞  
（子ども連れの親への手助けや話しかけを「と思う」回答者、性・都市規模別）

		席をゆずる	ドアをあけて、押さえおける	エレベーターで、先をゆずる	子どもが落としたり、おもちゃや靴などをひろう	つわり（一績）に代わり（ベビーカー）で、階段などで、荷物	はげましの笑顔を向ける、話しかける	子どもをあやす	その他	わからない	
全体	(n=1,510)	83.0	82.2	73.4	71.9	61.4	38.1	28.8	0.3	0.3	
男性	大都市	(n=150)	81.3	83.3	76.7	64.0	66.0	25.3	22.7	-	0.7
	中都市	(n=270)	85.2	81.5	73.3	67.0	61.1	28.1	17.4	0.4	-
	小都市	(n=156)	85.3	75.0	64.7	61.5	53.2	26.9	19.9	-	-
	郡部(町村)	(n=66)	84.8	84.8	72.7	69.7	62.1	24.2	19.7	-	-
女性	大都市	(n=205)	81.0	84.4	76.1	75.1	63.9	44.4	34.6	0.5	-
	中都市	(n=367)	83.4	85.8	79.3	79.6	61.9	47.4	37.1	0.5	0.3
	小都市	(n=211)	82.9	80.6	67.8	73.5	62.6	44.1	35.1	-	0.5
	郡部(町村)	(n=85)	76.5	76.5	65.9	76.5	57.6	52.9	34.1	-	1.2

- さらに性・末子年齢別にみると（図表 3-5-4）、末子が未就学児の層では「子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう」（男性 76.4%、女性 90.9%）、「はげましの笑顔を向ける、話しかける」（同 18.1%、42.7%）、「子どもをあやす」（同 18.1%、35.5%）は、女性の方が男性より多く回答している。
- 一方、末子未就学児の男性では、「階段などで、荷物やベビーカーを代わり（一緒に持つ）」（70.8%）が女性（63.6%）よりやや多くなっている。

図表 3-5-4 子ども連れの親に対してしたいこと<MA>

（子ども連れの親への手助けや話しかけを「すると思う」回答者、性・末子年齢別）

		席をゆずる	ドアをあけて、押	エレベーターで、先をゆずる	おもちゃが落としたひろう	つわり（一緒に持つ）に荷物	階段などで、荷物	はげましの笑顔を向ける、話しかける	子どもをあやす	その他	わからない
全体	(n=1,510)	83.0	82.2	73.4	71.9	61.4	38.1	28.8	0.3	0.3	
男性	末子未就学児	(n=72) 87.5	87.5	77.8	76.4	70.8	18.1	18.1	-	-	
	末子小学生	(n=61) 88.5	93.4	80.3	78.7	68.9	24.6	16.4	-	-	
	末子中学生	(n=25) 88.0	88.0	84.0	56.0	60.0	16.0	12.0	-	-	
	末子高校生以上	(n=342) 84.8	75.7	68.4	60.8	60.8	33.3	22.8	-	-	
	子どもはいない	(n=138) 79.0	82.6	71.7	66.7	50.7	18.8	14.5	-	0.7	
女性	末子未就学児	(n=110) 85.5	90.9	82.7	90.9	63.6	42.7	35.5	-	-	
	末子小学生	(n=62) 69.4	88.7	82.3	96.8	64.5	37.1	30.6	-	-	
	末子中学生	(n=25) 88.0	100.0	72.0	80.0	76.0	28.0	32.0	-	-	
	末子高校生以上	(n=518) 80.3	79.5	70.7	70.7	62.4	51.7	40.0	0.4	0.4	
	子どもはいない	(n=151) 89.4	85.4	78.1	78.1	57.0	38.4	24.5	0.7	0.7	



(6) 子ども連れの親の手助けをしないと思う理由 (Q15c)

【Q15aで「2 しないと思う」と答えた方に】

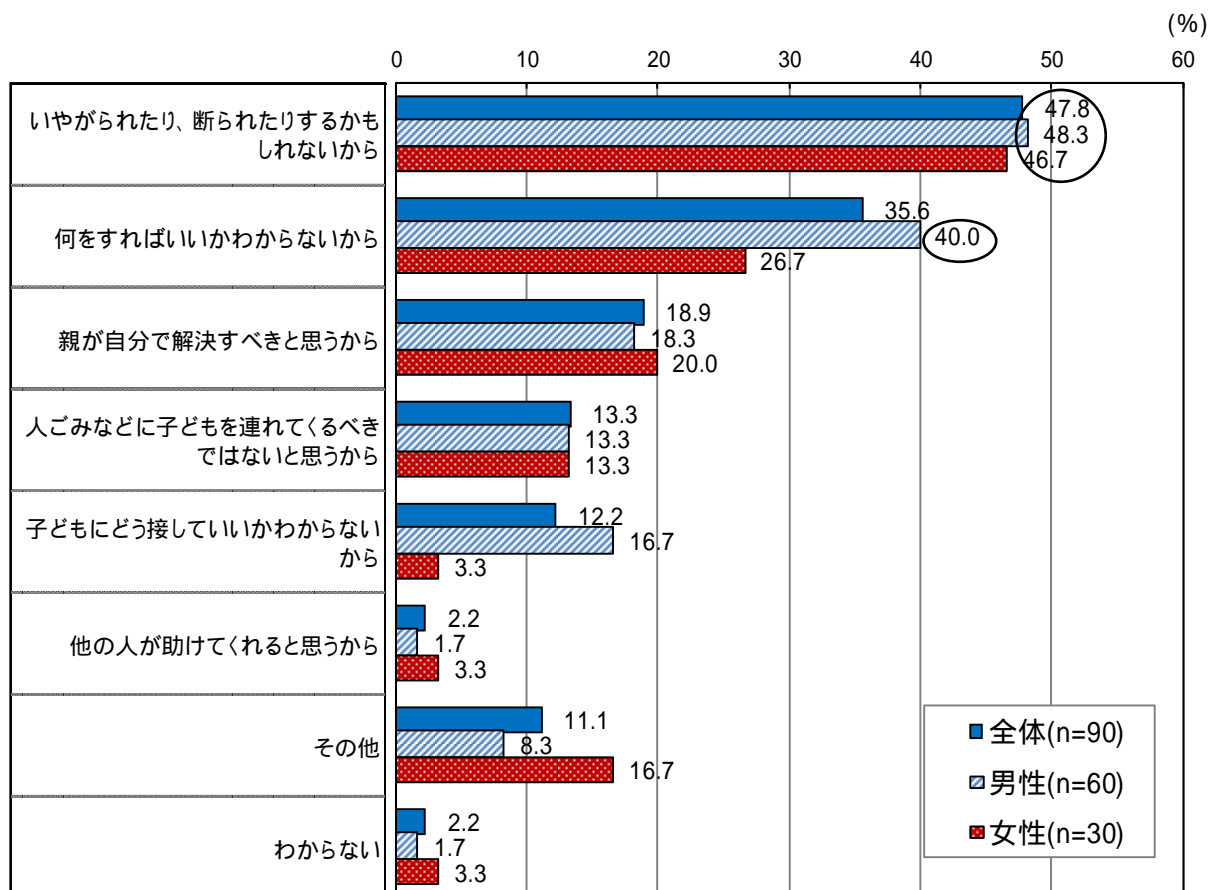
Q15c [回答票 18] 街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親が困っている場面を見かけたとき、手助けをしたり話しかけたりしないと思う理由はなんですか。

あてはまるものをこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (ア) 他の人が助けしてくれると思うから
- (イ) 子どもにどう接していいかわからないから
- (ウ) 何をすればいいかわからないから
- (エ) いやがられたり、断られたりするかもしれないから
- (オ) 親が自分で解決すべきと思うから
- (カ) 人ごみなどに子どもを連れてくるべきではないと思うから
- その他
- わからない

- 街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親が困っている場面を見かけた場合に、手助けをしたり、話しかけたり「しないと思う」という回答者（90人）の理由としては（図表3-6-1）、「いやがられたり、断られたりするかもしれないから」が47.8%で最も多くあげられ、次いで「何をすればいいかわからないから」が35.6%となっている。
- 性別にみると、男性では「いやがられたり、断られたりするかもしれないから」（48.3%）に次いで、「何をすればいいかわからないから」（40.0%）も4割台となっている。

図表3-6-1 子ども連れの親の手助けをしないと思う理由<MA>  
 (子ども連れの親への手助けや話しかけを「しないと思う」回答者、全体・性別)



(7) 子ども連れの親に対して実際に行った行動 (Q15d)

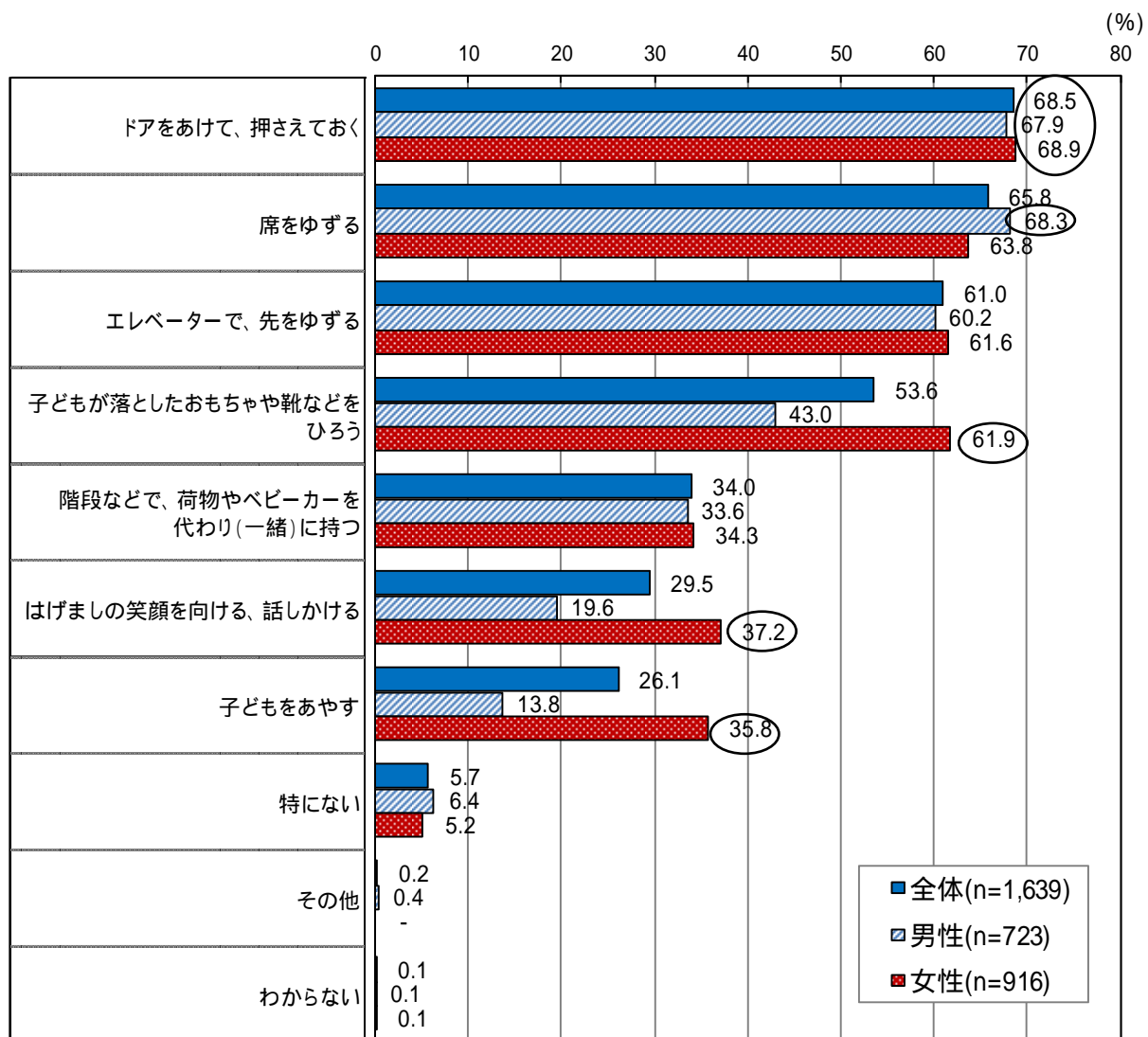
【全員の方に】

Q15d [回答票 19] 街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親を見かけたときに、実際にあなたが行ったことがあるものを、この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (ア) 席をゆずる
- (イ) 階段などで、荷物やベビーカーを代わり(一緒)に持つ
- (ウ) ドアをあけて、押さえておく
- (エ) エレベーターで、先をゆずる
- (オ) 子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう
- (カ) 子どもをあやす
- (キ) はげましの笑顔を向ける、話しかける
- 特にない
- その他 ( )
- わからない

- 街中や電車・バスなどの公共の場で、ベビーカーや子ども連れの親を見かけたときに実際に行ったことがあるものとしては(図表 3-7-1)、「ドアをあけて、押さえておく」が68.5%で最も多くあげられ、以下「席をゆずる」(65.8%)、「エレベーターで、先をゆずる」(61.0%)、「子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう」(53.6%)の順となっている。
- 性別にみると、「ドアをあけて、押さえておく」(男性67.9%、女性68.9%)に男女差はみられないが、男性が女性よりやや多くあげているのは、「席をゆずる」(同68.3%、63.8%)。
- 女性が男性より多くあげているのは、「子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう」(男性43.0%、女性61.9%)と「はげましの笑顔を向ける、話しかける」(同19.6%、37.2%)、「子どもをあやす」(同13.8%、35.8%)。

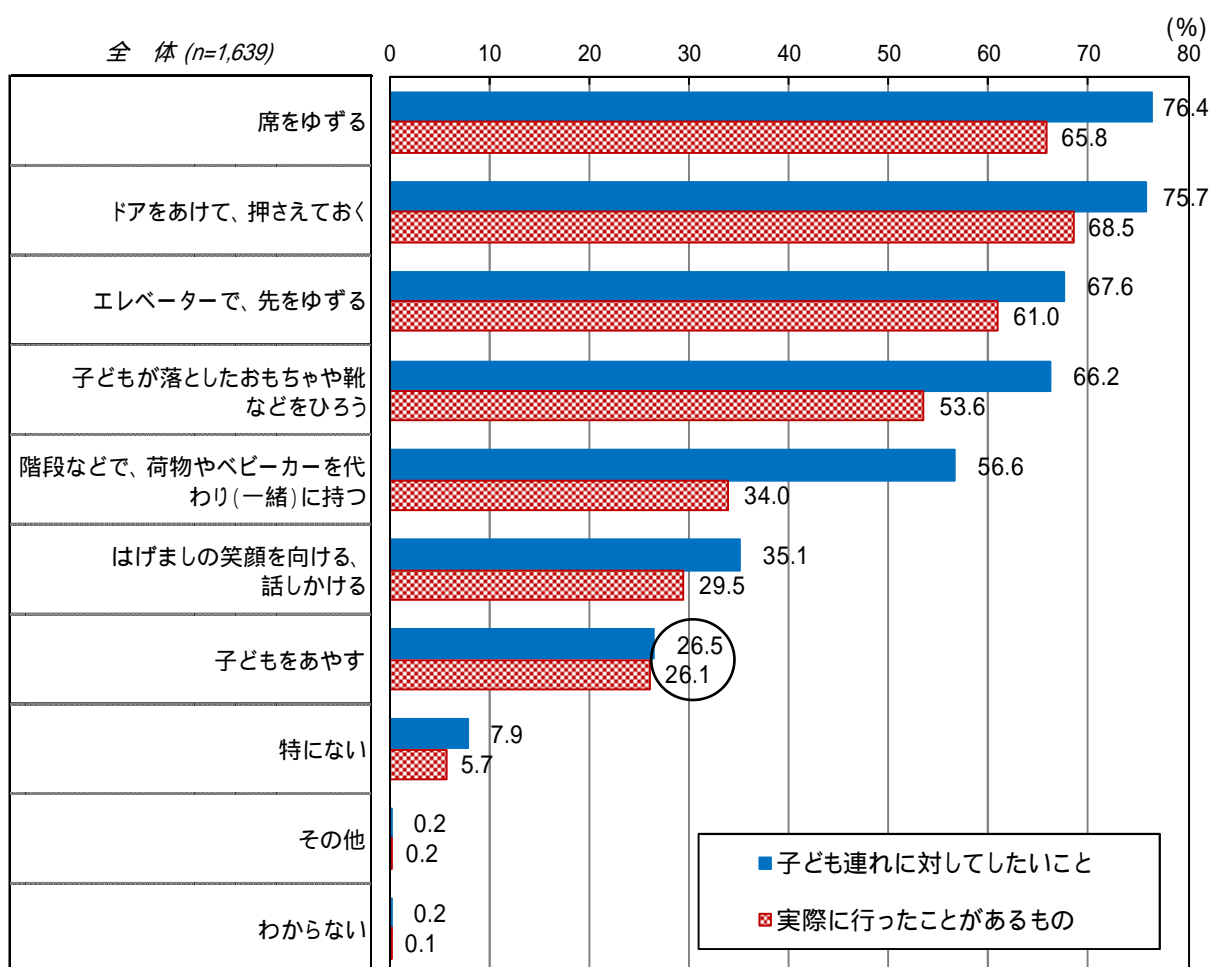
図表 3-7-1 子ども連れの親に対して実際に行った行動<MA> (全体・性別)



- 回答者全体について、子ども連れの親に対して“したいと思うこと”（Q15b、84ページ）と“実際に行った行動”を比較すると（図表3-7-2）、いずれの項目も、“したいと思う”という意識の方が、“実際に行った行動”を上回っているが、「子どもをあやす」については、意識（26.5%）と行動（26.1%）がほぼ同程度である。

図表 3-7-2 子ども連れの親に対して“したいと思うこと”と“実際に行った行動”

<MA>



注：同じ条件で比較するため、上記の図表では、“したいと思うこと”（Q15b）については、Q15a（81ページ）で子ども連れの親への手助けや話しかけを「しないと思う」もしくは「わからない」と回答した者を『特にない』として、回答者全体で算出している。

- 性・年代別にみると（図表 3-7-3）、男性の 20 代は、実際に行ったことのあるものが少なく、同じ 20 代の女性との差が大きい。
- それ以外の年代では、「ドアをあけて、押さえておく」と「エレベーターで、先をゆずる」は男女とも若年層に、「はげましの笑顔を向ける、話しかける」と「子どもをあやす」は高齢層に、多く行われている傾向がある。
- 「席をゆずる」と「階段などで、荷物やベビーカーを代わり（一緒）に持つ」は、男性の 40～50 代で同世代の女性より、やや多くあげられている。

図表 3-7-3 子ども連れの親に対して実際に行った行動＜MA＞（性・年代別）

			ドアをあけて、押さえておく	席をゆずる	エレベーターで、先をゆずる	子どもが落としたり、靴しなどひろう	階段などで、荷物やベビーカー（一緒）を持ち	はげましの笑顔、話しかける	子どもをあやす	特になし	その他	わからない
全体	(n=1,639)	68.5	65.8	61.0	53.6	34.0	29.5	26.1	5.7	0.2	0.1	
男性	男性小計	(n=723)	67.9	68.3	60.2	43.0	33.6	19.6	13.8	6.4	0.4	0.1
	20代	(n=64)	65.6	67.2	53.1	34.4	20.3	9.4	6.3	4.7	1.6	-
	30代	(n=94)	81.9	62.8	66.0	43.6	29.8	13.8	11.7	4.3	-	-
	40代	(n=141)	79.4	79.4	69.5	51.1	41.1	14.2	11.3	2.8	0.7	-
	50代	(n=123)	71.5	74.8	60.2	47.2	42.3	14.6	12.2	4.1	-	-
	60代	(n=161)	60.2	64.6	57.8	42.2	26.7	29.2	13.0	9.3	-	-
	70代	(n=140)	53.6	60.0	52.9	35.7	35.0	27.1	23.6	10.7	0.7	0.7
女性	女性小計	(n=916)	68.9	63.8	61.6	61.9	34.3	37.2	35.8	5.2	-	0.1
	20代	(n=70)	81.4	75.7	72.9	64.3	24.3	18.6	10.0	1.4	-	-
	30代	(n=130)	75.4	60.8	73.8	76.2	33.1	25.4	26.9	3.1	-	-
	40代	(n=141)	76.6	66.7	70.9	75.2	37.6	31.2	35.5	2.1	-	-
	50代	(n=169)	77.5	62.1	62.1	63.3	37.9	32.5	29.0	5.3	-	-
	60代	(n=232)	59.9	60.3	54.7	53.4	35.8	47.8	44.0	5.6	-	-
	70代	(n=174)	56.3	64.9	48.9	49.4	31.0	48.9	48.9	10.3	-	0.6

- 性・都市規模別にみると（図表 3-7-4）、「ドアをあけて、押さえておく」、「席をゆずる」、「エレベーターで、先をゆずる」は、女性で都市規模の大きい居住者ほど多くあげられる傾向がある。
- 男性でも「エレベーターで、先をゆずる」は、都市規模の大きい居住者ほど多くあげられる傾向がある。
- また、「はげましの笑顔に向ける、話しかける」ことをしたいという回答者が5割台とやや多い郡部(町村)在住者の女性（Q15b、87 ページ参照）をみると、実際に行ったという回答は37.8%と、女性の他の都市規模層との大きな差はみられない。

図表 3-7-4 子ども連れの親に対して実際に行った行動<MA>（性・都市規模別）

			ドアをあけて押さえておく	席をゆずる	エレベーターで先をゆずる	子どもが落ちや靴しなどおもちゃや靴し	階段などで、荷物やベビーカー（情緒）に持つ	かを向ける、話しかける	子どもをあやす	特にな	その他	わからない
全体	(n=1,639)	68.5	65.8	61.0	53.6	34.0	29.5	26.1	5.7	0.2	0.1	
男性	大都市	(n=169)	69.8	70.4	63.3	38.5	36.7	18.3	10.7	6.5	0.6	-
	中都市	(n=302)	71.5	66.9	63.2	42.4	35.8	19.9	14.9	5.3	-	0.3
	小都市	(n=180)	61.7	67.2	55.0	45.6	26.1	20.0	15.6	8.3	1.1	-
	郡部(町村)	(n=72)	63.9	72.2	52.8	50.0	36.1	20.8	12.5	5.6	-	-
女性	大都市	(n=219)	70.3	69.4	64.8	63.0	39.3	36.5	38.4	4.6	-	-
	中都市	(n=385)	71.9	62.9	66.5	62.6	33.8	39.0	36.4	3.9	-	0.3
	小都市	(n=222)	66.2	62.6	53.6	59.0	31.1	34.7	31.1	6.8	-	-
	郡部(町村)	(n=90)	58.9	56.7	52.2	63.3	32.2	37.8	38.9	8.9	-	-

- 性・末子年齢別にみると（図表 3-7-5）、末子が未就学児の層では、手助けの意向（Q 15b、88 ページ参照）と同様に、「子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう」（男性 46.2%、女性 83.0%）、「はげましの笑顔に向ける、話しかける」（同 15.4%、28.6%）、「子どもをあやす」（同 16.7%、32.1%）では、女性の方が男性より多く回答している。
- 末子未就学児の男性では、「階段などで、荷物やベビーカーを代わり（一緒）に持つ」（男性 43.6%、女性 34.8%）が女性よりやや多くなっている。

図表 3-7-5 子ども連れの親に対して実際に行った行動<MA>（性・末子年齢別）

		押ドアをあけておく	席をゆずる	エレベーターで、先をゆずる	子どもが落としたおもちゃや靴などをひろう	階段などで、荷物やベビーカーを代わり（一緒）に持つ	かを向ける、話しかける	子どもをあやす	特にない	その他	わからない
全体	(n=1,639)	68.5	65.8	61.0	53.6	34.0	29.5	26.1	5.7	0.2	0.1
男性	末子未就学児	87.2	67.9	67.9	46.2	43.6	15.4	16.7	2.6	-	-
	末子小学生	82.5	87.3	79.4	66.7	54.0	22.2	14.3	1.6	1.6	-
	末子中学生	79.3	79.3	75.9	44.8	34.5	10.3	13.8	3.4	-	-
	末子高校生以上	62.3	66.0	56.7	42.0	33.7	25.4	16.8	7.5	0.3	0.3
	子どもはいない	64.0	64.6	54.3	35.4	20.6	10.3	6.3	8.0	0.6	-
女性	末子未就学児	83.0	66.1	70.5	83.0	34.8	28.6	32.1	0.9	-	-
	末子小学生	75.8	59.1	74.2	86.4	36.4	30.3	30.3	-	-	-
	末子中学生	80.0	84.0	84.0	76.0	48.0	32.0	44.0	-	-	-
	末子高校生以上	63.5	62.0	54.6	54.4	34.7	43.0	41.3	6.1	-	0.2
	子どもはいない	72.2	66.3	69.2	59.8	29.6	27.8	21.3	8.3	-	-